

授業科目	相談援助実習指導Ⅱ				単位	4		
履修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE31229J		
開講年次	3	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	荒木 剛、岡田 和敏、山本 佳代子、文屋 典子、通山 久仁子							
授業概要	<p>実習に向けた具体的な手続き、各種書類の作成、事前訪問の方法、実習先でのマナーや態度、総括レポートについて説明し、実践する。また、実習中は、巡回及び帰校日による指導を行う。実習後は、実習体験を踏まえた個別・集団指導を行い、実習の総括として全体報告会を開催する。</p> <p>なお、実習は分散型実習(原則として3年次の前期及び後期に各90時間)として実施されるため、実習をはさむ形で授業を行う。</p> <p>※授業スケジュールの詳細はオリエンテーション時にお知らせします。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助に係る知識・技術の実際的な理解を深め、実践的に体得する。 2. 相談援助に係る知識・技術を実際に活用し、相談援助職に必要な資質、技能を習得する。 3. 職業倫理を身に付け、福祉専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 4. 相談援助実習に向けての準備・手続き、実習後の学習について理解する。 5. 相談援助実習での体験や援助活動を専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	0	20	50	100	
知識・理解 (DP1-1)			5			5	10	
知識・理解 (DP1-2)			5				5	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			5			5	10	
思考・判断 (DP2-2)			5			5	10	
関心・意欲 (DP3-1)			5			5	10	
関心・意欲 (DP3-2)			5			5	10	
態度(DP4-1)					5	5	10	
態度(DP4-2)					5	5	10	
態度 (DP4-3)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-1)						5	5	
技能・表現 (DP5-2)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
相談援助に係る知識・技術や専門職としての職業倫理についての理解を深める中で、自己の課題を把握し、その改善に向けた取り組みを実行できる。				相談援助に係る知識・技術や専門職としての職業倫理についての理解を深めることができる。また、相談援助実習に向けての準備・手続き、実習後の学習について理解し、実行できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	【前期オリエンテーション】 前期の授業内容・日程、受講のルール等について説明する。	講義	なし	
2	【実習に必要な書類の作成】 実習生紹介票等の作成について個別指導を行う。	個別指導	当該テーマの個人ワーク	60
3	【実習に必要な書類の作成】 実習生紹介票等の作成について個別指導を行う。	個別指導	当該テーマの個人ワーク	60
4	【実習に必要な書類の作成】 実習生紹介票等の作成について個別指導を行う。	個別指導	当該テーマの個人ワーク	60
5	【事前訪問について】 事前訪問の目的、方法、注意事項について説明する。	講義	当該テーマの復習	30
6	【実習で必要な知識・技術について】 実習先で必要となる知識・支援技術について説明する。	講義	当該テーマの復習	30
7	【実習で必要な知識・技術について】 実習先で必要となる知識・支援技術について説明する。	講義	当該テーマの復習	30
8	【実習日誌について】 実習日誌の意義・目的、記入方法について説明する。	講義	当該テーマの復習	30
9	【実習日誌について】 実習日誌の意義・目的、記入方法について説明する。	講義	当該テーマの復習	30
10	【前期実習前の最終確認】 実習履修上の注意点等について最終の説明を行う。	講義	当該テーマの復習	60
11	【帰校日】 実習の進捗状況について確認し、個別及び集団指導を行う。	個別指導 グループワーク	当該テーマの個人・グループワーク	60
12	【帰校日】 実習の進捗状況について確認し、個別及び集団指導を行う。	個別指導 グループワーク	当該テーマの個人・グループワーク	60
13	【領域別報告会】 実習領域ごとに前期実習の振り返りを行う。	個別指導 グループワーク	当該テーマの復習	30
14	【領域別報告会】 実習領域ごとに前期実習の振り返りを行う。	個別指導 グループワーク	当該テーマの復習	30
15	【後期オリエンテーション】 後期の授業内容・日程について説明する。	講義	なし	
16	【実習に必要な書類の作成】 後期実習計画書の作成について個別指導を行う。	個別指導	当該テーマの個人ワーク	60
17	【実習に必要な書類の作成】 後期実習計画書の作成について個別指導を行う。	個別指導	当該テーマの個人ワーク	60
18	【実習に必要な書類の作成】 後期実習計画書の作成について個別指導を行う。	個別指導	当該テーマの個人ワーク	60
19	【後期実習に向けた事前学習】 利用者理解、個別支援計画の作成、実習日誌など後期実習に向けた指導を行う。	講義 グループワーク	当該テーマの復習	30
20	【後期実習に向けた事前学習】 利用者理解、個別支援計画の作成、実習日誌など後期実習に向けた指導を行う。	講義 グループワーク	当該テーマの復習	30
21	【後期実習前の最終確認】 実習履修上の注意点等について最終の説明を行う。	講義	当該テーマの復習	30

22	【帰校日】 実習の進捗状況について確認し、個別及び集団指導を行う。	個別指導 グループワーク	当該テーマの個人・グループワーク	30
23	【帰校日】 実習の進捗状況について確認し、個別及び集団指導を行う。	個別指導 グループワーク	当該テーマの個人・グループワーク	30
24	【実習の振り返り】 個別面談による後期実習の振り返り、領域別報告会の準備、実習報告書の作成を行う。	個別指導 グループワーク	当該テーマの個人・グループワーク	30
25	【実習の振り返り】 個別面談による後期実習の振り返り、領域別報告会の準備、実習報告書の作成を行う。	個別指導 グループワーク	当該テーマの個人・グループワーク	30
26	【領域別報告会】 実習領域ごとに後期実習の報告会を行う。	グループワーク	当該テーマの復習	30
27	【領域別報告会】 実習領域ごとに後期実習の報告会を行う。	グループワーク	当該テーマの復習	30
28	【全体報告会】 各領域ごとに実習全体を通しての学び・気づき、課題・反省等を整理し、報告を行う。	グループワーク	当該テーマの復習	30
29			なし	
30				
理解に必要な予備知識や技能	各自の実習領域に関する法制度やサービス、利用者の特性、支援技術等についての知識を必要とする。			
テキスト	「相談援助実習マニュアル」西南女学院大学			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書:「社会福祉士 相談援助実習 第2版」中央法規			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	各自の実習領域・施設に関する事前学習を深めておいて下さい。また、ボランティアにも積極的に取り組んで下さい。			
達成度評価に関するコメント	実習レポート、必要書類や課題等の提出状況、その他(授業への参加意欲、個人・グループ学習に取り組む姿勢、リーダーシップ、協力度など)で評価する。 詳細は、初回の講義で示す。 度重なる遅刻・欠席、提出物の遅れ等が見られた場合は、実習取りやめの措置をとります。			

